

日本発ドイツ便り:窓には花を

ドイツの街、それも観光地ではなく、たとえば表通りから一步入った住宅地を歩いていると、日本と景色が決定的に異なる点があります。

なんだと思いますか？

- ・洗濯物が見えない！
- ・窓や玄関にお花があつたり、きれいに飾ってある。

でしょうか。

ドイツでは家(=プライベートな空間)であっても外から見える部分(窓とかベランダとか)は半分公共の空間であるようで、都会では外から見えるところに洗濯物を干すのは「景観を損ねる」という理由で禁止(田舎ではOKです。)！窓ガラスがちゃんと磨かれていなかったり、外から見てきれいじゃないと、近所の人から文句を言われたりするそうです。(私もちゃんと毎週窓を磨いて、鉢植えとか置いていました。☺)

洗濯物についてはかなり色々言いたいことがあるので(+ドイツのある謎を解いてくれます)また別の機会にお届けしたいと思います。



春になったら窓には花を。クリスマス時期にはクリスマスの飾りを！



お手入れは大変そうですが、なかなか素敵じゃないですか？



とあるお家のクリスマスの飾り。ドイツではあんまりキラキラの飾りは見ませんね～。



これはちょうど収穫祭のころのあるお家の玄関。凝ってます。

ドイツから日本に帰ってきて、大阪の街を見て、いつも、建物の色と高さが揃っている。電柱がない。洗濯物が見えない。これだけで街の景観ってかなり変わるもんだな…。と思います。観光地だけじゃなくて、一本外れた住宅地を散歩するのも結構面白いですよ。☺